

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

2023年8月18日

FUJITSUファミリー会論文（2022年度）で、
当社従業員が執筆した論文が優秀論文などを受賞しました。

FUJITSUファミリー会論文（2022年度）（*）で、当社従業員が執筆した論文が「優秀論文」、「秀作論文」、「新人賞」を受賞しました。

■一般論文の部【優秀論文】

- 保険金・給付金等の請求手続のデジタル化
～「1時間でお支払いまで完了」～
・水野祐輝職員、高橋幸太職員
（事業三部（執筆時所属、以下同様））

■一般論文の部【秀作論文】

- 新たな働き方を踏まえたコールセンター業務の改善
・早田英邦職員
（事業三部）

■新人論文の部【新人賞】

- 社内端末更改案件における新入社員の取り組み
について
・小幡亮介職員、岡本福也職員
（テクニカルサポート二部）



社長と一緒に記念撮影
受賞した水野職員（中央）、高橋職員（右）

■受賞者のコメント

・論文は「請求手続のデジタル化」の案件をテーマとし、実際の開発を担当したメンバーで執筆しました。検討期間を含め約3年にわたるプロジェクトでしたが、開発期間中に苦労したところや改善できそうな点について、あらためて議論を重ねながら進めました。
開発としての振り返りを実施するうえでも、論文執筆はとても良い機会となりました。
当論文の執筆および実開発で得た経験を活かし、今後さらなる「お客さまサービスの向上」と「業務効率化」へ貢献できるよう、システム開発に尽力していきます。（水野職員、高橋職員）

・今回執筆した論文は、オンプレミス環境に構築していたコールセンターシステムをクラウド環境に移行した内容を記述したものです。当開発によって、システム側の課題解決だけでなく、新型コロナウイルスの感染拡大に備えシステム利用者の働き方を変える事ができました。
論文内容が、第三者に評価いただけたことでプロジェクトメンバーの自信を得ることができました。
当開発で培った経験を今後のシステム開発に繋げていきたいと思っています。（早田職員）

・論文は、事務端末更改後の支援に参画した際の内容について記載したものです。
当時は入社1年目で分からないことが多く、ユーザと直接やり取りする難しさを感じましたが、利用者の目線になってシステムに触れることができ、論文の執筆を通じて、利用者視点で使いやすいシステムを開発する重要性を再認識しました。この経験を活かし、今後の開発でも分かりやすいシステム作りを心掛けたいと思います。（小幡職員、岡本職員）

（*）FUJITSUファミリー会は、1964年に発足、2014年度で創設50周年を迎えた歴史のあるユーザー会。会員数は約3,700会員、年間約240回のイベントを開催し、情報通信システムのユーザー団体としては国内最大規模。
「人材育成」「情報収集」「異業種交流」の3本柱を目的として活動しており、論文の応募は、自己成長・人材育成と、自社の取り組みを広く社外にアピールできる場ともなっている。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101